

# 『ユニカール』の普及活動により 高齢者の健康維持と孤独解消に尽力。

さ さ き けんじろう  
佐々木 賢二郎さん (一財)日本郵政退職者連盟(秋田県北秋田市) 83歳



運動不足から始めた「ユニカール」の協会を設立。

2000年以上の歴史を持つカーリングをシーズンオフに楽しもうと、スウェーデンで考案された「ユニカール」。1チーム3人で、特殊なカーペットのうえでストーンを滑らせるように投げ、円形の目標地点に、より近づけることを競います。旧鷹巣町は、もともと「ユニカール」が盛んな地域でしたが、佐々木賢二郎さんはそれまでスポーツには縁がなく、これなら運動から遠ざかっていた自分にもできるし、

なにより高齢者のスポーツとして最適だと思い、先輩に誘われるままに運動不足解消のためにやってみて、「ユニカール」の魅力にとりつかれたのでした。

当時秋田県では、健康保持と二人暮らしの寂しさの解消のために、「ユースポーツの「ユニカール」を推進しており、佐々木さんも先輩や仲間と共に平成14年4月に「鷹巣町ユニカール協会」の設立に参画しました。

協会役員としても選手としても全力投球。

「鷹巣町ユニカール協会」を設立した時に会員は60〜70人程度でしたが、もっと広く普及させたいという思いで、佐々木さんは普及活動にも尽力しました。

比較的高齢の会員が多かったことから、もっと若い人たちにも「ユニカール」を普及した

いと考え、働いている人でも参加しやすいように、それまで昼間ばかりだった練習スケジュールを夜にも組むようにして、仕事帰りや夕食後に参加することもできるようにするなど工夫を凝らしました。

また、選手としても技術の向上を図り、各種大会に積極的に参加し、全国大会にも出場。平成16年には「ユニカール」発祥の地であるスウェーデンの国際親善大会にも参加しました。佐々木さんは「各地の大会に行くのは、大会そのものも楽しみですが、行ったところのないところに旅行できるのも楽しみです」と笑います。その後、町村合併により「鷹巣町ユニカール協会」は「北秋田ユニカール協会」と変更し、会員数も増え、現在では160名ほどになっています。

体力の続く限り現役を続けたい。



現在も、週に3回各支部の練習に参加。技術の向上に努めると共に、役員として各種大会の開催に携わっています。平成23年には、「北秋田ユニカール協会」の発展に努め、競技の普及と組織の発展に尽力したとして、北秋田市体育協会よりスポーツ功労賞を授与されました。

「現在83歳ですが足腰が丈夫なうちは現役を続けたいと思っています。とりあえずは、2020年の東京オリンピックを目標に現役を続行します」と元気に語ります。